「江別市小中一貫教育」☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和８年１０月２０日
第８３号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

中学生が地域学校協働活動の担い手として活躍

～中央中学校区　PTA 主催のお祭りに中学生が参加～

９月１２日（土）に中央中の吹奏楽部、科学部とその他のボランティアを希望する生徒が、対雁小や中央小の PTA 主催行事に出向き、コンサートや理科の実験、出店のお手伝い等を行いました。

まず、午前中は対雁小の「ワクワクふれあい祭り」が開催され、ステージ発表で吹奏楽部の演奏が披露されました。対雁小出身の中学生による楽しい司会進行と素敵な演奏に、観客の皆さんから大きな拍手がおくられました。グラウンドでは、科学部が「ペットボトルロケット」や「ジャンボシャボン玉」のデモンストレーション・体験ブースの運営等を行っていました。射的等の出店では、中学生ボランティアがお客さんを案内したり、景品を渡したり等の仕事をしていました。

午後は中央小の「PTA まつり」が行われ、中央中の吹奏楽部がオープニングに続く演奏を行い、大いに活躍しました。また、中央小の出身の中央中生が、プラ板教室やネイルアート体験、かたぬき等の出店ブースで運営のお手伝いをたくさんしており、生き生きと活動する中学生の姿が印象的でした。

これらの取組は、「中学生の自己肯定感や自己有用感を醸成する」「小学生の部活動への関心意欲を高める」という小中一貫教育としてのねらいを達成するとともに、「中学生自身が地域の中で活躍し、さらに力を伸ばす」という地域学校協働活動としても意義のあるものです。小学校と中学校それぞれにとってウィンウィンとなる実践となっていました。

※詳細は江別市教育委員会ホームページに掲載されている「地域学校協働通信 With(ウィズ)」（https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/shogaigakushu/153508.html）を参照ください。




吹奏楽部の演奏の様子　対雁小（左）中央小（右）




科学部の実験の様子　対雁小






出店で店番のボランティアをしている中央中生　対雁小（一番左）中央小（右３枚）

学校、保護者、地域の連携・協働によるイベント

～対雁小での石狩教育局社会教育巡回訪問～

北海道教育庁石狩教育局社会教育指導班が、今年度の社会教育巡回訪問として対雁小を訪れ、「ワクワクふれあい祭り」の様子を視察し、その他の CS や地学協働の取組についての協議を行いました。

対雁小では、PTAが主体となり、見晴台自治会や新栄台西自治会等の自治会や「いきいき行動隊」という地域の団体、空手や体操、太鼓の少年団、中央中の中学生や高校生・大学生等、たくさんの方々が協力して「ワクワクふれあい祭り」を開催しています。また、地域と連携した取組として、学校の清掃を担う「キレイキレイ隊」や読み聞かせ、本の修理等を行う「読み聞かせ隊」「図書整備隊」、ベルマークの整理を行う「ベルマーク集め隊」を組織しています。さらに、学習サポート教員や日本語サポートボランティア、ミシンボランティア、スキーボランティア等の活用も進められており、保護者・地域の協力を得て学校環境や教育活動の充実を図る取組が推進されています。中央中学校区の合同CSの開催も令和４年度から進められており、今年度からは新たに江別市の地域学校協働活動推進事業モデル校区にも指定されました。

これらのCSや地学協働に関わる実践に対し、石狩教育局の社会教育指導班から管内の好事例の実践として高く評価されました。



石狩教育局との協議の様子



読み聞かせ隊の活動の様子

中学3年生の素敵なハーモニーに感動！

～大麻東中学校区　中学校登校で校内見学と合唱鑑賞・校歌斉唱～

９月１７日（木）に大麻東小と大麻泉小の６年生が大麻東中を訪れ、中学校生徒会役員の引率による校内見学、中学３年生の合唱交流の鑑賞、２つの小学校の校歌を聴き合う等の活動を行いました。令和４年度から毎年改善を図りながら実施されてきた取組で、現在の中学３年生も小学生の時に当時の先輩の合唱を聴く等して、中学校進学への意欲を高めました。子どもたち同士でしっかりと心のバトンを受け渡してきた素晴らしい実践です。



大麻東小と大麻泉小の６年生が中学校を体験！

【小学６年生の感想】

○校内探検をして中学校生活の楽しい所や大変な所をイメージできました。

○中学生の歌がすごかったです。声変わりしている男の人もはきはきと声が通っていて驚きました。みんな優しくて楽しかったです。

○中学校の雰囲気が柔らかい感じがして温かくてよかったです。

地域の中で子どもたちが活躍！学校運営委員が一緒にHUG!

～大麻東小CS主催「ふれあいコンサート」と第2回CS～

９月１９日（土）に、大麻東小CS主催の「親子ふれあいコンサート」が開催されました。この行事は、「音楽を通して、青少年の健全育成を図り、ひいては地域の音楽文化の振興に寄与する。」ことを目的にして、大麻東小PTAや青少年育成会、大麻第二住区自治会の協力を得て毎年実施されています。当日は、「大麻夢太鼓」「おおあさブラスバンド」「大麻東中学校吹奏楽部」が素敵な音楽を演奏してくださり、子どもたちや保護者、地域の方々が楽しい時間を共有できたコンサートとなりました。また、大麻東小第２回CSでは、学校運営委員の皆様が４年生の防災教室に参加し、児童と一緒に「避難所運営ゲーム（HUG)」に取り組む中で防災教育の実際を体験していただきました。







大麻夢太鼓、おおあさブラスバンド、大麻東中吹奏楽部の演奏の様子



避難所運営ゲームの様子

「江別市小中一貫教育」☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和８年１０月２０日
第８４号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

3つの小学校の子どもたちが集い、共に学ぶ！

～野幌中学校区　中学校登校～



完成したモザイクアート！

９月２９日（火）に野幌中学校区の中学校登校が行われました。野幌小、東野幌小、野幌若葉小の６年生が野幌中学校を訪問し、中学３年生の合唱の鑑賞や、３つの小学校（「３小」）合同での共同制作活動を行いました。

前段は、「野中祭」を目前にした各学級の合唱を交流する中学３年生の合唱交流会を鑑賞しました。小学生の子どもたちは、先輩たちの合唱に向かう姿勢や歌声を直接目の当たりにし、目を輝かせて聞き入っていました。３年後の自分たちの姿を想像し、先輩たちへのあこがれの気持ちや今後行われる小学校の学習発表会に対する意欲もさらに強まったようです。児童からは「中学生のきれいな合唱と姿勢のすばらしさ、中学校生活に対する前向きな思い」に関する感想が多く出されました。また、中学生からも「先輩としての姿や意識」を考えた感想が多くあり、小中双方にとって有意義な取組となりました。

後段では、「３小」の児童が混ざり合う６グループでモザイクアートを作成しました。誕生月によって決められた色を１人１色ずつ担当し、指定されたマス目に着色していきます。制限時間２５分間で全１６０枚を塗り終わるために、小学６年生は徐々にお互いに声を掛け合って作業を進め、自然と打ち解け合う姿が見られるようになっていきました。モザイクアートが完成すると、大きな歓声が上がり、お互いをたたえ合う等、達成感を感じていたようです。

野幌中学校区では、「３小」の児童が自然と交流できる場面を設定し、中学入学後の生活へスムーズに移行できるような取組を進めています。





中学３年生の素敵なハーモニーを小学６年生が真剣な眼差しで鑑賞



感想を発表する児童





「３小」の児童が力を合わせてモザイクアートを制作

地域の人材を活用した授業、実践の整理・発信

～文京台小での石狩教育局社会教育巡回訪問～

北海道教育庁石狩教育局による市内２つ目の社会教育巡回訪問が１０月５日（月）に行われました。当日は、小学２年生と４年生が「北海若衆太鼓」の講師の方２名を招き、和太鼓の体験活動を行っており、その学習の様子も石狩教育局の方に参観していただきました。

文京台小は、今年度開校４０周年を迎えましたが、開校以来、文京台地区の皆さんが見守り活動や読み聞かせ、図書整備のボランティア等の活動を通して、子どもたちの学びをサポートしてくださっています。また、北翔大との連携協定を結んでおり、たくさんの大学生が学習支援ボランティアとして活躍してくださっています。さらに北翔大の副学長や職員の方が学校運営委員になり、文京台 CS の活動や熟議に参加し、過去には CS 主催の防災教室等の取組も進めてくださいました。

今年度はこれらの地域学校協働活動の様子を可視化する取組として、「サポーターズプレス」（「つなぎ　つむぐ」第７８号参照）を新たに作成・発行しています。学校と地域の連携についての発信や新たな参加者の掘り起こし等、複数の目的・効果につながる取組となっています。

石狩教育局との協議では、各種取組への質問や賞賛の意見がたくさん出され、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を着実に推進している文京台小の実践が高く評価されました。



音楽科（和太鼓体験）の授業



石狩教育局との協議

音楽を楽しみ、素敵な合唱を聴いて学ぶ！

～第二中学校区　小中合同音楽広場・学校祭合唱鑑賞～

９月２９日（火）に、第二小学校を会場にして、第二中学校区の特別支援学級による「合同音楽広場」が行われました。子どもたちは、外部講師の指導の下、音楽に合わせた身体表現やコミュニケーション活動を楽しみました。

最初は少し緊張していましたが、音楽が流れると心も体もほぐれていき、自然と笑顔が広がる等、小学生と中学生が仲良く交流する姿がたくさん見られました。また、活動中には、中学生が優しく小学生に声をかけ、手本を見せてリードしてくれました。中学生にとっては「下級生を思いやる優しさとリーダーシップ」を発揮するよい機会となり、小学生にとっては「中学校への安心感と見通し」をもつ時間となりました。

また、小学６年生が第二中の学校祭に参加し、中学３年生の合唱コンクールを鑑賞する取組も行いました。子どもたちは真剣な表情で歌声を聴き、よりよい合唱を目指して全員で一生懸命歌う先輩の姿を観覧して、深く感銘を受けたようです。また、間近に迫った小学校の学芸発表会に向けての意欲もさらに高まっていました。



合同音楽広場



合唱コンクールの鑑賞